



株式会社Spica

代表取締役・BAN SAYAKA

ばん さやかさん

あらゆる工業製品の
可能性を引き出し、
女性の「困った」を解決する

ものづくりの楽しさから 会社創業へ

当社は夫が経営する豊光産業(株)という、金属プレス加工が得意なB to B向けの町工場よりスピニアウトした会社です。私は元々、大学で社会福祉を学び、障がい者や高齢者を支えることに興味がありました。社会福祉士の資格を取り、大学卒業後は、福祉施設で働いていましたが、夫の会社で経理をしていた義母がなくなったタイミングで豊光産業(株)を

手伝うことに決め、福祉の仕事を離れることになりました。畑違いの分野で大変なこともありましたが、経営という視点から社会に参加することを面白く感じていました。

2023年に名商が主催する「藤田医科大学ニーズ発表会」に参加した際に、産婦人科のニーズが目に残りました。そのニーズに応えようと打ち合わせを重ねる中で、産婦人科の看護師の方から、ものづくり・産婦の2つの視点から助言を求められ、私も開発に参加することになりました。これまで夫の会社を裏方と

して支えてきましたが、現場の声を聞きながらものをつくる楽しさを知り、夫婦で話し合い、B to C分野にせつかく挑戦するなら自分でやってみようと(株)Spicaを創業することになりました。

出産の経験から 「まさぽ」の開発へ

出産現場では、いきみ逃しにテニスボールが使われています。古くからある民間療法ですが、目的外使用のため、衛生的な観点や安心して使っていたくためにも、専用の製品へのニーズが前述の「発表会」で挙げられました。

その要望に応えるために開発したのが「まさぽいきみのがし」です。私は開発当初より、ものづくりだけでなく経産婦の視点からも参画しています。共感を交えた雑談の中から新たな発見があり、数カ月 に及ぶ打ち合わせを経て、プロトタイプが完成しました。その後、藤田医科大学病院で実際に妊婦さんに「ご使用いただき、毎月1回、フィードバックを受け、製品の改良を重ねていきました。

そして、2024年10月に東京ビッグサイトで開催されたフェムテックを中心とした展示会「Fem+」に

て製品発表をしました。想像以上の反響をいただき、複数のメディアにも取り上げられ、フェムテック分野の注目度の高さを実感しています。また、展示会では様々な視点での「意見もいただき、非常に有意義な3日間となりました。展示会での手ごたえを踏まえ、2024年11月より自社ECにて販売を開始しました。

ものづくりで女性の 「困った」を助ける

「まさぽ」は出産のサポートのほかに、「コミュニケーションの架け橋にもなるように」という思いを込めてつくった製品です。当事者でないからと出産に関われないパートナーが、出産に寄り添い参画する、そのお手伝いができたらと考えています。信頼のある人が触れることは、妊婦さんにとっても安心感につながります。

ものづくりの現場は、まだまだ男性が多いのが現状です。培われてきた技術に女性の目線が加わることで、今まで手が届かなかった課題の解決につながっていくと思います。当社は、今後女性目線でのものづくりで、女性の「困った」を助ける企業であることを目指していきます。

Column

＼ 愛用のアイテム紹介 /

手帳と付箋



紙世代ですので、手書きで予定管理。子育てとの両立のため付箋を使いスケジュール管理をしています。

Company Data | 会社概要

Spica

株式会社Spica

〔創業〕2023年
〔所在地〕名古屋市名東区藤が丘137
〔MAIL〕info@spica-lab.com
〔URL〕https://spica-lab.com/
〔事業内容〕樹脂製品企画・開発・販売

